

## コミュニタリアンについて

彼らの主張している資本主義を前提としてコミュニティをもう一度見直してみようという試みは、多数決が問題であることにある。これは人間の価値は等価ではないということである。マルクスの主張は間違っていたが、コミュニタリアンの主張していることは共産主義社会の実態に類似している。君たちはエリートなんだから、ハーバード・ロースクールを卒業したらがんばって行きなさいとマイケル・サンデル先生は言いたいんだろう。モスクワ大学を卒業したらがんばっていきなさい、という励ましと似ている。イギリスの貴族社会とも類似している。翻って、我が日本はどうであろうか。最近、私は参議院を貴族院に戻した方がよいなどというふとどきなことを考えていたら、故小松雅雄先生(早稲田大学政治経済学部教授)に叱られそうな気がする。「君たちは優秀なんだから、友達を大切にしながら、道の真ん中を堂々と行きなさい」という指導とも良く似ている。ケインジアンがハイエクに批判されるのは、こういう点である。「合理主義的個人主義」だと言われてしまう。ハイエクによると「反合理主義的個人主義」が自由主義で、「合理主義的個人主義」が社会主義だという。コミュニタリアンの主張は、結局、国はエリートによって導かれなければならないということに尽きると思う。プーチンは何を目的にウクライナ侵攻を図ったのであろうか。NATOとロシアの停戦の余地はこの辺にありそうだ。戦争は人殺しです。犠牲になるのはいつも民衆である。ハイエク全集とケインズの「雇用、利子及び貨幣に関する一般理論」を早く買わなければ。絶対、ハイエクの勝ちである。友達を大切にしながら、反合理主義的個人主義を主張するのは、難しいのであろうか。コミュニタリアンに飽きてきて、ガルブレイス先生(左派ケインジアン)に頼りたくなってきた。「Voice of Poor」どこに行ったかな。せっかくケンブリッジ・マサチューセッツに行ったときに古本屋で買ってきたのに。アラン・ブルームやジャック・アタリとデビット・ヒュームはどうであろうか。自分で自由主義者だと思っている合理主義者は多いんだぞ。こんな若輩者がこんなこと言ってすみません。大原簿記学校の通信教育で仕分け勉強しなきゃ。勉強じゃなくて、仕事しないと。ご飯が食べられない。日本銀行、公定歩合をプラスにしろ！

2022年4月20日(水曜日)

追記：F. A. von Hayek(1899-1992：1974年ノーベル経済学賞受賞)の「貨幣発行自由化論(Denationalization of Money: 貨幣の非国家化)」の文頭にはシェークスピアを引用して「絶望的な病気には非常手段をもって処するしかない」と書いてある。現実の世の中は、決して自由主義の社会ではないからであった。ハイエク公はオーストリア生まれの貴族けれども、イギリスに渡った。ハイエクはロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)で教えていたが、当時は人気がなかった。「複数の棟梁で作った建築物よりも、一人の棟梁で作った建築物の方が良いものができる」とハイエクは書いている。「船頭多くして船山に登る」

ということわざもあるでしょう。ハイエクの曾孫のアリシア・ハイエク(イギリスの貴族)によると 1992 年に亡くなる前に「論敵だったケインズが懐かしい」と言って友達はケインズだけだったと述懐していたという。「ナンバーワンでなくてもいい、もともと特別なオンリーワン」という「世界に一つだけの花」という歌が良かったのは、端的に個人主義の良いところを歌っていたからであろう。ハイエクは法学博士の資格も持っていたけれども、人を豊かにする学問(経済学)と人を裁く学問(法学)は時として対立するものであった。

2022 年 4 月 21 日(木曜日)

英文法令社  
佐藤 賢一